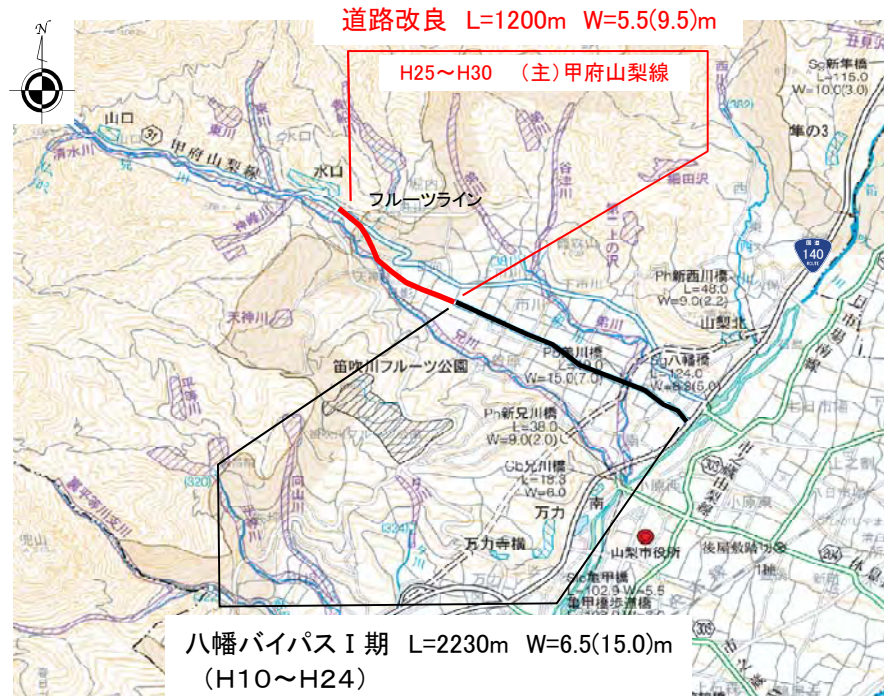


1. 事業評価説明シート

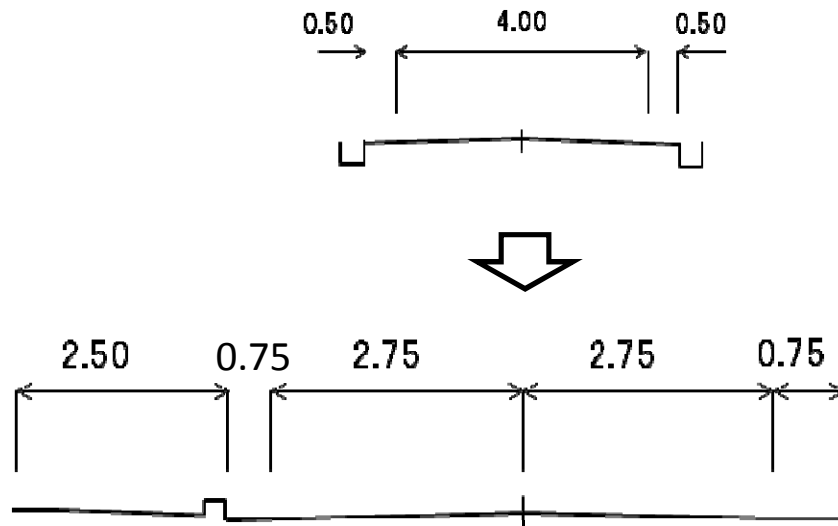
事業名	事業箇所	山梨市水口～大工	地区名	(主) 甲府山梨線(八幡バイパスⅡ期)	事業主体	山梨県																		
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 主要地方道甲府山梨線は、甲府市中央1丁目を起点とし、太良峠を經由して山梨市内の国道140号にいたる全長23.7kmの道路であり、沿線住民の重要な生活道路となっている。山梨市水口～大工間は幅員の狭小箇所や視距を確保できない箇所が多く、円滑な通行に支障が生じていたことから、地域の活性化及び非常時の避難・輸送路として、早期に整備する必要がある。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 道路改良率 38.7% < 59.7%未済 ※ 混雑度走行速度 29km/h < 30km/h以下 ※</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保 歩行者・自転車交通量 1人台/12h < 71人台/12h以上※ 自動車交通量 442台/12h < 3,314台/12h以上 ※ 通学路の指定 指定あり (八幡小学校) ※ 現況の歩道幅員 0 < 1.4m未済 ※ ※ 評価基準値</p> <p>□副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保 (避難路の確保)</p>			<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い</p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・道路法第15条の規定により県が実施すべき事業である</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 費用便益比(B/C) = 1.4 > 1.0 ・費用(C) = 5.0億円 ・便益(B) = 7.0億円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・道路拡幅及び歩道設置に必要最低限の範囲</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・道路線形が悪く、多くの家屋が支障となることからバイパス計画により整備する</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・設計にあたり環境への影響が最小限となるよう計画する</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・地元から要望あり</p> <p>総合評価 [貢献度ランク: a] <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p>																					
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 道路改良 L=1200m W=5.5(9.5)m</p> <p>②整備期間 平成25年度～平成30年度</p> <p>③総事業費 約500百万円(国費325百万円(6.5/10)県費175(3.5/10))</p> <p>④全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>道路詳細設計・用地測量</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>用地買収補償</td> <td>70百万円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>用地買収補償</td> <td>100百万円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>用地買収補償・道路改良工事</td> <td>100百万円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>道路改良工事</td> <td>100百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>道路改良工事</td> <td>100百万円</td> </tr> </table> <p>⑤既整備内容・期間・事業費 八幡バイパスⅠ期 L=2230m W=6.5(15.0)m H10～H24 事業費 34億円</p>			平成25年度	道路詳細設計・用地測量	30百万円	平成26年度	用地買収補償	70百万円	平成27年度	用地買収補償	100百万円	平成28年度	用地買収補償・道路改良工事	100百万円	平成29年度	道路改良工事	100百万円	平成30年度	道路改良工事	100百万円	<p>【事業位置図等】</p> <p>道路改良 L=1200m W=5.5(9.5)m</p> <p>凡例 今回事業評価箇所 既整備箇所</p> <p>八幡バイパスⅠ期 L=2230m W=6.5(15.0)m</p>			
平成25年度	道路詳細設計・用地測量	30百万円																						
平成26年度	用地買収補償	70百万円																						
平成27年度	用地買収補償	100百万円																						
平成28年度	用地買収補償・道路改良工事	100百万円																						
平成29年度	道路改良工事	100百万円																						
平成30年度	道路改良工事	100百万円																						

2. 添付資料シート



① 起点側より終点側を望む

標準横断面図



② 終点側より起点側を望む